



文部科学大臣杯 2010MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦

9.25 SAT - **26** SUN

スーパーバイクレース in 岡山



OKAYAMA International Circuit
岡山国際サーキット
www.okayama-international-circuit.jp

Advance to the Future

スーパーバイクレース in 岡山

開催レース **JSB 1000** **ST 600** **J-GP3** **GP-MONO**

国内最高峰のロードレース、MFJ SUPERBIKE・全日本ロードレース選手権が9月25日(土)、26日(日)にシリーズ第5戦として岡山国際サーキットで開催。各クラスともチャンピオンの行方を占う上で重要な一戦となる。

最高峰クラスとなるJSB1000クラスの公式予選は、セッションごとに勝ち残っていくノックアウト方式を採用し、土曜日からエキサイティングなタイムアタックを観ることが出来る。今シーズンは、前半戦を終えた時点で、20歳の高橋巧が暫定ランキングトップにつけ絶好調。3年連続チャンピオンを狙う中須賀克行も僅差で続き、虎視眈々。カワサキのエース柳川明、今年こそチャンピオンを狙いたい亀谷長純、最速を誇る韋駄天・秋吉耕佑と国内最高峰を戦うトップライダーが集結。

また、今シーズン限りでJSB1000クラス卒業を表明している伊藤真一が岡山ラストランに臨む。過去、全日本タイトルを4度獲得、岡山での優勝経験もある伊藤が自ら花道を飾ることができるだろうか!?必見の国内最高峰のバトル、そして伊藤のラストランに注目!

ST600クラスは、ピレリ旋風が吹き荒れている。その先鋒はJSB1000クラスからスイッチした山口辰也だ。まだ優勝こそないもののランキングをリードしている。また今シーズンは、コースレコードが毎戦更新されているだけに、土曜日の公式予選もチェックしたいところだ。

J-GP3クラスは、若手ライダーが力をつけてきている。全日本3年目を迎える大久保光は開幕戦で初優勝を達成、今、ノリに乗っているライダーの一人だ。鎌田悟、森俊也、矢作雄馬、山本剛大などの若手に、岡山マイスターの菊池寛幸、Hondaにスイッチした徳留真紀、仲城英幸など強力なベテラン勢がぶつかり合う。

GP-MONOクラスは小室旭がタイトルに向けてはく進中。谷川壮洋、藤井謙汰、川野泰成が、ストップ・ザ・小室に挑む。



**迫力の
国内最高峰ロードレース
シリーズの行方を占う
重要な一戦!**



新戦国時代を担う NEWヒーロー達からの 「卒業祝福セレモニー」もお見逃しなく!!

伊藤真一選手「全日本ロードフル参戦卒業祝福セレモニー」

伊藤真一選手は、1990年GP500全日本チャンピオンに始まり、1993年から1996年の4年間世界グランプリ・フル参戦、その後、全日本選手権に舞台を戻し、2005年・2006年とJSB1000全日本チャンピオンを2年連続で獲得するなど、その輝かしい功績は日本を代表するトップライダーであり、そのリーダーシップは次のライダーの目標であり、大きな壁でもあります。

その伊藤選手が、2010年をもって全日本ロードレース選手権フル参戦から卒業することとなりました。岡山国際サーキットでは、伊藤真一選手の足跡を讃え、日曜日のピットウォーク時にメインストレート上で「卒業式」を実施することとなりました。

また、パドックバスご購入の方には、伊藤選手の歴史を綴った写真に、歴代マシンやヘルメット、レーシングスーツなどを展示したメモリアルルームにご入場いただけます。

見逃せない歴史の1ページをお見逃しなく!!

個性豊かな外車のレース。

同時開催 **King of EURO FIGHTER**



サポートレースとして開催される、「King of EURO FIGHTER」とは、当サーキットで年間4回開催している「モトレヴオリューション with モトルネッサンス」の中の人気クラス「EURO FIGHTER」の頂点を決める大会。「海外オートバイメーカー限定」のカテゴリーで参加できる海外メーカーは、ドゥカティ・トライアンフ・BMW・モトグッチ・KTM、なかにはハスクバーナーやハーレーダビッドソン(EUROではありませんが…)などなど。外車という特殊性もあり趣味性が強く、速さだけではなくカスタマイズの楽しさや、マシンの仕上がりの美しさが魅力だ。また単にレースに参加するだけでなく自分好みに美しくカスタマイズされたマシンを多くの人に披露する場もなっている。イベント広場では多くの外車系のオートバイショップやカスタムショップも自慢のデモ車を披露する場として出展。美しくカスタマイズされた海外メーカーのオートバイをより身近な場所で観戦出来、エキサイティングなレース展開を通して、いつもの全日本ロードレースと一味違った世界を満喫することとなるだろう。

パドックバスで さらに楽しい!さらに感激!

◆ピットウォーク (9/25,26開催)

マシンやライダーを「もっと身近に」観たい皆様にお勧めなのが、このピットウォーク。各ピット前に並べられたマシンやライダーに接近できるピットウォークは、レース観戦の醍醐味のひとつ。記念写真やサインなど様々なファンサービスも用意され、きっと思い出に残るレースとなるでしょう。「ピットウォークバス」または「パドックバス」を購入して、ピットウォークに参加して下さい。

◆激感エリア (9/25,26開催)

コースサイドに設けられた激感エリアへ「パドックバス」購入で入場可能。コースサイドから大迫力のバトルを楽しめる。

観戦料金 ※サポーターズクラブ会員の方はwebサイト購入時に割引あり。

■入場料金 ※中学生以下は無料(但し、保護者同伴に限りです)

前売券(土日通し)	3,500円
(日曜日)	3,500円
(土曜日)	2,100円
当日券(日曜日)	5,000円
(土曜日)	3,000円

■VIPピットラウンジパス(スターティンググリッド入場可) 16,275円(80名先着限定)

※WEB限定販売。発券手数料はお客様負担。
(中学生以下5,000円引き。駐車バス・公式プログラムは付きません。)

■パドックバス ※大会1週間前迄のWEB限定販売。発券手数料はお客様負担。小学生以下無料。

(土日通し)	4,200円
(日曜日)	6,000円
(土曜日)	2,000円

■ピットウォークバス ※小学生以下無料

(日曜日のみ)	2,000円
---------	--------

※予選日はパドックバスでOK

■駐車料 4輪:日曜日1,500円/土曜日1,000円 2輪:日曜日1,000円/土曜日 600円

※小型~大型自動二輪車でご来場のお客様は、決勝日レース終了後に行われるサーキットクルージングに参加可能です。

■前売り券販売所 岡山国際サーキットホームページ

ローソンチケット〈前売券〉	
〈土日通し観戦券〉	Lコード:65007
〈日曜日観戦券〉	Lコード:61554
〈土曜日観戦券〉	Lコード:61553

岡山国際サーキット サポーターズクラブ 会員募集中!
三菱 UFJ NICOS VISAカード

パドックバスやピットラウンジパスの優先販売など、モーターズスポーツファンには、たまらない特典がいっぱい!! 詳しくは、岡山国際サーキット公式ホームページをチェック!

OKAYAMA International Circuit
岡山国際サーキット

Advance to the Future

ご注意! 無料場外駐車場⇄サーキット間のシャトルバス運行は行いませんのでご了承ください。